

ウクライナ語デジタル辞典（Windows 用）（無料）の使い方

この辞典には、次の辞書が入っています。

1. ウクライナ語日本語語彙集（約 10 万語）
2. 日本語ウクライナ語語彙集（約 7 万語）
3. ウクライナ語頻度辞典（約 10 万語）
4. ウクライナ語不規則変化辞典（約 4 千語形）

3 のウクライナ語頻度辞典（約 10 万語）は、次のホームページ上で公開されているウクライナ語頻度データ（<http://u-mova.blogspot.com/2013/09/blog-post.html>）をデジタル辞典化したものです。

1 のウクライナ語日本語語彙集（約 10 万語）は、生成 AI「Claude」を利用して、頻度データの 10 万語にアクセント記号付きの発音記号と日本語の訳語を付け、更に頻度上位 1 万語にウクライナ語の例文とその日本語訳を付け、一部の単語に【より詳しい説明】を付けたものです。

2 の日本語ウクライナ語語彙集（約 7 万語）は、1 のウクライナ語日本語語彙集を反転させ、エクセルその他を利用して読み仮名を自動で付けたものです。

4 のウクライナ語不規則変化辞典（約 4 千語形）は、次のホームページ上で公開されているウクライナ語デジタル変化表（<https://lcorp.ulif.org.ua/dictua/>）を利用して、不規則変化する単語の変化形から原形を引くことができるようにしたものです。

この辞典の特徴は以下の通りです。

3 のウクライナ語頻度辞典（約 10 万語）は、「発音記号」の所に「*」と頻度順位の数字で頻度が示されるほか、「WORD」欄に「*」を入れると、頻度順に並んだ単語を見ることがができます。記号は、頻度順位 1 番～2,000 番の二千語に「***」、2,001～5,000 番の三千語に「**」、5,001 番～10,000 番の五千語に「*」が付いています。

1 のウクライナ語日本語語彙集（約 10 万語）は、ウクライナ語の文字（キリル文字）とラテン文字（ローマ字）のどちらでも辞書引きができ、**キリル文字のキーボードを正確に覚えていない人でも通常のラテン文字のキーボードで辞書引きができます**（キリル文字・ラテン文字両用引きシステム）。変換方法は下の表に従っています。

キリル	ローマ	キリル	ローマ	キリル	ローマ
А а	a	Ї ї	yi	Ф ф	f
Б б	b	Й й	y	Х х	kh
В в	v	К к	k	Ц ц	ts
Г г	h	Л л	l	Ч ч	ch
Ґ ґ	g	М м	m	Ш ш	sh
Д д	d	Н н	n	Щ щ	shch
Е е	e	О о	o	Ь ь	'
Є є	ye	П п	p	Ю ю	yu
Ж ж	zh	Р р	r	Я я	ya
З з	z	С с	s		
И и	y	Т т	t		
І і	i	У у	u		

2 の日本語ウクライナ語語彙集（約 7 万語）は、通常の日本語（かな漢字混じり）のほか、**ひらがなの読み仮名とアルファベット（ヘボン式）の読み仮名でも引くことができます**（ひらがな・アルファベット両用引きシステム）。

4 のウクライナ語不規則変化辞典（約 4 千語形）は、不規則変化する単語の変化形で検索すると、**йтимуть→йти** のように→で原形を示し、そのまま Enter キーを押すと原形で辞書引きができるようになっています。

更に、ウクライナ語変化形→原形変換システムを搭載し、不規則変化形だけでなく規則変化形からも辞書引きができます。

後述の「WEB 検索ウインドウを併用した便利な自動辞書引き」（WEB 連動検索）を使うと、この辞書から直接に WEB 上で公開されている辞典その他にジャンプして、ウクライナ語の単語変化表、ウクライナ語大辞典、ウクライナ語英語辞典、日本語ウクライナ語辞典などを利用することができます。

辞書は編集が許可されているので、自分で単語を付け加えたり、辞書の内容を書き換えたりすることが簡単にできます。

この辞典の利用に当たっては、以下の点を了承の上で利用してください。

1. 発音記号、訳語、ウクライナ語の例文とその日本語訳、【より詳しい説明】は、生成 AI (Claude) の現在のレベルに応じたものであり、すべてが正確だとは限りません。発音記号については、生成 AI のモデルによって、記述の仕方が多少異なります。
2. 日本語のよみがなについては、エクセルのレベルに応じたものになっており、すべてが正確だとは限りません。

インストールの仕方

Windows パソコンへのインストールの仕方は、まず、ダウンロードした圧縮ファイルを展開（解凍）し、必要なら中身を適当なフォルダにコピーします。

まず「**PDICU-×.×.×-setup**」をダブルクリックしてインストールしてください。

あとは、インストールした PDIC を起動して、以下のように設定すれば、使えるようになります。

なお、PDIC は TaN 氏が開発して WEB 上で公開している Windows 用辞書検索ソフトです。このソフトのライセンスについては、PDIC の上部メニューバーの「Help」→「PDIC について」→「ライセンスについて」で確認してください。

1 辞書の設定方法

辞書の設定方法は、A. 簡易な設定方法、B. 詳細な設定方法の 2 種類があります。とりあえず使えるようにするだけなら A で、詳細な設定をしたい場合は B で設定してください。なお、**いずれの場合も、必ず辞書ファイル（×××.dic）と同じフォルダに「ukr-jap.irc」というファイルを入れてください。**

A. 簡易な設定方法

PDIC を起動し、ダウンロードして解凍した「Dict」フォルダに入っている**辞書ファイル（×××.dic）をすべて選択し**、PDIC の画面にドラッグ&ドロップするだけで、自動的に辞書ファイルが登録されて使えるようになります。

B. 詳細な設定方法

1. PDIC 上部ツールバーの「File」→「辞書設定＜詳細＞」で辞書設定画面を開きます。
2. 左の「辞書グループ一覧」で右クリックし、「辞書グループの追加」を選択し、「ウクライナ語 (Win)」という名前にしたグループを追加します。

3. 右側の「使用辞書一覧」に移り、右クリックして、「既存辞書の追加」を選び、ダウンロードして解凍した「Dict」フォルダに入っている辞書ファイル「××.dic」をすべて「ウクライナ語」の辞書グループに追加します。

2 辞書の基本的な引き方

上部の「WORD」欄に文字を入れると、先頭の文字からインクリメンタル・サーチで見出し語を検索していきます。変化形の場合は、変化形を「WORD」欄に入れて Enter キーを押すと、変化形を原形に直して検索します。

ウクライナ語についてはウクライナ語の文字（キリル文字）とラテン文字（ローマ字）のどちらでも辞書引きができます（キリル文字・ラテン文字両用引きシステム）。日本語については通常の日本語（かな漢字混じり）のほか、ひらがなの読み仮名とアルファベット（ヘボン式）の読み仮名でも辞書引きができます（ひらがな・アルファベット両用引きシステム）。これによって英語キーボードのアルファベットだけでウクライナ語と日本語の辞書引きが入力ができ、言語によってキーボードを切り替える必要がありません。

ウクライナ語のデジタル・テキストを読んでいる時は、PDIC の右上の「自動検索」をクリックしてから、引きたい単語を選択して「CTRL+C」を押すと、テキスト上でポップアップ検索を行います。変化形で検索し、複数の原形がヒットした場合は、右上に「1/3」のような数字が表示されるので、スペース・キーを押して、正しい原形を選択してください。

また、「WORD」欄に文字が入っている状態で「CTRL+Enter」を押すと、簡単に自分で単語を付け加えたり、辞書の内容を書き換えたりすることができます。その際、辞書の選択の画面が表示されるので、単語を追加する場合は、「ukr-user-u.dic」（ユーザー辞書）を選択することをお勧めします。

PDIC 辞典の詳細な使用方法については、チェコ語辞典のマニュアル（manual.pdf）を参照してください。チェコ語辞典のマニュアル（manual.pdf）は、以下のチェコ語辞典のホームページからダウンロードすることができます。

<https://czechdicjp.jimdofree.com/%E6%9C%80%E6%96%B0%E6%A9%9F%E8%83%BD-%E6%9C%80%E6%96%B0%E3%83%84%E3%83%BC%E3%83%AB-%E6%9C%80%E6%96%B0%E7%89%88%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB-%E6%97%A2%E7%9F%A5%E3%81%AE%E5%95%8F%E9%A1%8C/>

3 WEB 検索（WEB 連動検索）の設定方法と使用方法

PDIC の WEB 検索機能を利用すると、WEB で公開されているウクライナ語変化表やウクライナ語辞典などを簡単に連動検索できるので、是非設定することをお勧めします。

設定方法は以下の通りです。

1. 圧縮ファイルを解凍してできたフォルダの中に、「Ukrainian-websrch.tsv」というファイルがあることを確認し、ファイルの所在場所を確認しておきます。
2. PDIC の上部メニューバーから「Tools」→「設定」を選択して、設定画面を開きます。
3. 「検索設定」の「Web 検索」を選択し、「設定のインポート」ボタンを押します。
4. ファイル選択の画面が出てくるので、「Ukrainian-websrch.tsv」を指定すると、「Web 検索・登録サイト一覧」が表示されます。

「WORD」欄に単語の原形が入っている状態で、上部メニューバーの「Search」→「Web で検索」で「■ウクライナ語・ウクライナ語辞典」などを指定すると、ブラウザが開いて連動検索します。

ラテン文字で検索した場合は、「WORD」欄にキリル文字の原形を入れてから検索します。キリル文字の原形をクリックすると「WORD」欄に原形が入るので、それから WEB 検索を行います。

「■」の付いたものは、この辞書から直接外部の辞書を引くことができますが、「■」の付いていないものは、外部のサイトが表示されるだけなので、その外部サイトの検索窓に単語を入れて検索します。その際、CTRL+W を押すと、検索窓にある単語がコピーされるので、それをペーストすることができます。

ブラウザ用のアドオン「FirePop!」をインストールすると、WEB 検索でウクライナ語・ウクライナ語辞典（ウクライナ語大辞典）などを引いた後、その中の単語を PDIC でポップアップ検索することができます。「FirePop!」についてはこちら（<http://pdic.la.coocan.jp/unicode/>）を参照してください。また、ブラウザ用のアドオン「テキストリンク & Google 翻訳」をインストールすると、意味を知りたい文章を選択して、その部分だけ簡単に日本語に翻訳することができます。日本語に翻訳した後ウクライナ語に戻す時は、ブラウザでページを再読み込みします。

Web 検索時に使用するブラウザの指定方法については、以下を参照してください。

4 WEB 検索で使用するブラウザの指定方法

WEB 検索を行うたびに Windows がどのブラウザを使うか聞いてきて面倒な場合は、あらかじめ PDIC で使用するブラウザを指定しておくことができます。ただし、この作業はレジストリエディターを用いてレジストリを書き換えるので、**万が一間違えるとシステムが正常に動かなくなる可能性があるため、自己責任において慎重に行ってください。**また、後から WEB 検索の URL の変更が行われると初期設定に戻ってしまうので、再び書き換える必要が生じます。

以下は、Windows において PDIC で使用するブラウザを「Googl Chrome」に指定する場合の方法です。

1. Googl Chrome がインストールされているパソコンのデスクトップ上に、「Googl Chrome」のショートカットがあることを確認します（見当たらない場合は、Windows の左下をクリックしてすべてのプログラムを表示し、「Googl Chrome」の上で右クリックし、「その他」→「ファイルの場所を開く」を選ぶと、ショートカットが表示されます）。
2. 「Googl Chrome」のショートカットの上で右クリックします。
3. 「プロパティ」をクリックします。
4. 「リンク先」で CTRL+A を押し、次に CTRL+C を押して、リンク先をコピーしてから、プロパティを閉じます。
5. メモ帳かワードに CTRL+V でリンク先をはりつけます。

例："C:\Program Files\Google\Chrome\Application\chrome.exe"

6. Windows の左下の虫眼鏡のアイコンをクリックして

regedit

と入力してエンターキーを押し、レジストリエディターを起動します。

（虫眼鏡のアイコンが表示されていない場合は、プログラム一覧から「Windows システムツール」→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、名前に「regedit」と入力して「OK」をクリックし、「レジストリエディター」を起動します）

7. 次の順番に>をクリックします。

HKEY_CURRENT_USER
Software
ReliefOffice

PDIC2

WebSearch

8. 「WebSearch」の右側の画面に、WEB 検索の URL の一覧が並んで表示されていることを確認します。
9. レジストリエディターの上部メニューバーの「編集」→「新規」→「文字列値」をクリックします。
10. WEB 検索の URL の一覧の末尾に「新しい値」が追加されているのを確認し、そこに「WebCmd」と入力して Enter キーを押します。
11. 「WebCmd」の上で右クリックして「修正」を選択します。
12. 「値のデータ」に、先ほど貼り付けたリンク先の最初と最後の"\"を削除したものをコピー&ペーストして入力します。

例：

C:\Program Files\Google\Chrome\Application\chrome.exe

13. 「OK」を押してから、レジストリエディターを終了します。

5 ウクライナ語の音声聴取方法

このウクライナ語辞典は生成 AI で作成しているため、発音記号が正しくない場合がありますが、WEB の音声聴取ツールを利用することで、それを補うことができます。音声聴取ツールには以下のようなものがあります。

(1) ウクライナ語 Wiktionary

上記 WEB 検索の設定を行った上で、PDIC で単語を引いてから、WEB 検索でウクライナ語 Wiktionary を検索します。ウクライナ語 Wiktionary で単語がヒットし、更に「Вимова」(発音)の所に「прослухати вимову」(発音聴取)のファイルがあれば、それをクリックすることで人間の音声で発音を聴くことができます。

(2) Google 翻訳

ブラウザ Google Chrome の拡張機能 (Mozilla Firefox のアドオン) で「Google 翻訳」を検索してインストールします。WEB 検索で「ウクライナ語・ウクライナ語辞典」などを検索し、ヒットしたら、発音を聴きたい部分を選択して「Google 翻訳」で翻訳すると、発音を聴くことができます。

その他、Google Chrome の拡張機能「Read Aloud」でも機械音声で発音を聴くことができます。Microsoft Edge には最初から音声聴取ツールが付いています (ただし、Microsoft Edge では FirePop! は使えません)。

6 自分で成長させる辞書

前述のように、この辞書は生成 AI を利用して作成しており、間違いや不十分な点がありますが、PDIC には辞書作成・編集機能があるので、「WORD」欄に文字が入っている状態で「CTRL+Enter」を押すと、自分で簡単にその単語を修正・追加することができます。間違いについては、WEB 上のウクライナ語辞典や変化表を参照して修正することができます。また、追加については、生成 AI を用いて情報を取得して追加することができます。その場合、Claude (<https://claude.ai/>) の無料版に利用登録してから、必要に応じて以下のような質問の定式を Claude に送信すれば情報を得られます。

【定式1】（標準的な質問）

下のウクライナ語の単語に、例のように、アクセント記号付きの[発音記号]、日本語の訳、その単語を使った例文、その例文の日本語訳を付けてください。

例：

що [ʃɔ] 何、どんな、～ということ Що ти робиш? あなたは何をしていますか？

【定式2】（その単語の意味・用法・例文などについて詳しく知りたい場合）

次のウクライナ語の単語について、詳しく説明してください。

【定式3】（その単語の品詞、名詞の性、動詞の体などについて知りたい場合）

次のウクライナ語の単語の「文法情報」を示してください。
